

学校自己評価(1) 校内

領域	短期経営目標	自己評価(職員)			保護者・地域、児童アンケート		
		具体的方策	取組達成目標	結果	結果	○成果 ●課題 ☆改善策等	
確かな学力の定着と向上	・計画に基づいた指導 ・基礎的、基本的な学習内容の定着	「週ごとの指導計画」に指導のねらい、指導内容等を明記して、計画的に工夫した指導を行う。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.6	保護者・地域アンケートで工夫した授業が行われているが、86% わかりやすい授業を行っているが、92% 児童アンケートで勉強がよく分かりますが、90%	○先生がいつも工夫してくださっているのがありがたいです。 ●授業の仕切り方や教え方は教員同士の勉強会、スキルアップ、先生を育てるプログラムが必須だと感じます。 ☆子供の実態をしっかり把握し、児童が「わかる」「できる」を実感でき、意欲を持ってとりくめる授業を工夫していくよう、研修・研究をしていく。	
		・1単位時間(45分)の授業時間をしっかりと確保し、授業時数の確保を行う。(毎週「週ごとの指導計画」に時数を記入する。)	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.7		○通信教材や公文塾など行っていませんし、親も特に勉強を教えていませんが、授業が分かり易いのか今のところ特に学習面では困っていません。先生のおかげです。ありがとうございます。 ○宿題を見てあげていませんが、本人が理解しているようなので授業が分かり易いのだと思います。本人的には、社会は難しいと感じています。 ☆子供たちにとって「わかる」「できる」授業の構築に努力をしていく。 ●習熟度別で先生によって進め方の違いはありますが、自分で教科書を読むように指導する先生がいらっしゃるようです。自分で読んで理解するのが無理なときに、フォローしてほしいます。 ☆児童の習熟に合ったグループ編成に努め、習熟の程度に応じた学習の展開を工夫していく。児童が自ら考え学び進めるところ、教師が考え方や解き方を指導するところを明確にしている。	
	・算数科で、習熟別学習(3～6年)・TT指導(1・2年)を行い、算数科の授業の充実を図る。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.7	保護者・地域アンケートで算数が分かりやすくなっているが、86% 児童アンケートで算数の勉強はよく分かりますが、86%			
	・朝学習『春日タイム』などを活用して、個に応じた指導の充実を図る。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.1	保護者・地域アンケートで授業を通して基礎的な力を身に付けているが、89%	●学力に対しての競争心が育っていない。平均点などを出しても子供たちのやる気を引き出してほしい。 ☆競争心は時には有効であるが、平均点を出して競争心をあおるようなことは、小学校では適切とは思わない。学習の目標等を明確にし個々にめあてもっとしっかりとらえさせるとともに、個に応じた指導等の充実を図る。		
	・総合的な学習の時間・生活科で探求的な学習を行う。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.5	児童アンケートで生活科や総合的な学習の時間に、いろいろ調べたり、見つけたりしていますが、87%	○いろいろな分野の外部講師を招き「本物」に触れる機会をたくさん作っていただき感謝しています。オーケストラの演奏を聴いて「ゾクゾクした!」それをお友達と「僕も!」と共有した。こんな話を聞く本当に成長を実感できます。そして心の豊かさが勉強の集中力や「何でもがんばる力」につながると思えます。大きな行事を含めて先生方のご努力には頭が下がります。これからもよろしくお願いたします。		
	・学習の基礎となる「規律ある学習習慣」を確立する。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.4	保護者・地域アンケートで、授業の約束が守られているが、81% 児童アンケートで勉強の時の約束を守っていますが、83%	○どんな教科、あるいは教科外のことでも、子供たちがそれぞれ持っている力を安心して表現でき、周囲もそれを賞賛できる雰囲気であり続けたいと思います。 ●授業時間中にプリントを提出のために席を立ち歩くと移動することが多いのが気がかりです。勉強の基礎となり、授業時間座っていられるというのは小さい頃から習慣づけたいと身につきにくいと私個人は考えております。 ☆授業中の移動については、他の児童の迷惑や学習への集中が途切れないように考えていく。落ちついて学習できる環境を整える。		
	・自己申告時の授業を公開する。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.7				
健やかな心と体の育成	・心の教育の推進	・基本的な生活習慣を確立させる。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.1	保護者・地域アンケートで基本的な生活習慣を身に付けているが、91% 児童アンケートで生活のきまりを守っていますが、85%	●遅刻やあいさつに関してはもちろん、「ない」「できる」にしたことは無いと思いますが、それぞれの家庭の事情や心身の状態がある中で、子供なりにがんばっていることに光を当てていただければいいなと思います。 ☆遅刻の指導は、個人や家庭環境に配慮して行っている。時間を守る、あいさつをするといった基本的な社会のきまりに則していることは家庭と協力して児童の良い行動へとつなげていきたい。	
		・あいさつができるようにする。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.1	保護者・地域アンケートで子供は、あいさつができていますが、84% 児童アンケートであいさつができていますが、90%	○学校に伺ういつも子供たちから元気にあいさつされます。こちら元気にあいさつを返します。先生方、保護者の方々の姿勢がよく分かる瞬間です。あいさつのある学校は良い学校だと思います。 ☆あいさつのできない子には、まず大人から声をかけて、根気よく指導を続けていく。学年ごとの「あいさつ運動」も継続する。	
	・特別支援教育の充実	・年間指導計画に基づき、週1時間の道徳の授業を充実させる。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.5	保護者・地域アンケートでまわりの人に対する思いやりや親切な心が育っているが、88% 児童アンケートで友だちと仲良くしたり、友だちの気持ちを考えて行動したりしていますが、88%	○春日小の子供たちは優しい雰囲気の子が多いので、友達、先生、地域の大人、子供たちにかかわる環境が良いのだらうと思っています。いろいろな方々に子供を見てもらってありがとうございます。 ○首の無意味な厳しさよりも、応用力が身につくような、生きていくために必要な力を養っていただきたいですし、そうして生きていくように感じます。 ●子供は中学年以降年々「豊かな心」「思いやりや親切心」が育っていると感じます。その分、先生の言葉遣いや態度に敏感です。自分で考える力が伸びる高学年です。厳しさが逆効果にならないよう「伝え方」の改善を望みます。 ☆教師自身が冷静さを忘れず、厳しさの中に温かさを感じられる指導を心がける。	
		・配慮を要する児童の実態を把握し、一人一人の教育ニーズに応じた指導を行う。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.0	児童アンケートで学校が楽しいですが、88%	●私語や授業の進行を妨げるような行為がみられる学級には、TTの先生やその他フォローの先生が積極的に入っていき、落ち着いた授業を受けられる環境にしてほしいと思います。 ☆学習のルールを徹底し、学校全体で落ち着いた学習活動が行われるようにする。特別に対応が必要な児童や学級については、支援員などを導入して対応している。今後も、可能な限りの対応策を継続していく。	
	・体力の向上	・新体力テストの結果を活用して、体育授業を改善、充実させる。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	2.9	児童アンケートで体育の勉強は楽しいですが、95% 体育の勉強でいろいろなことができるようになりましたが、87%	☆新指導要領について体育部中心に研修(指導計画の改善、指導方法等に関する実技研修等)し、授業に活かしていく。 ☆H31年度も新体力テストの結果分析を授業等に活かしていく。	
		・オリンピック・パラリンピック教育の推進	・オリンピック・パラリンピック教育推進のための取組を各教科で実施する。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	2.7	○様々なゲストティーチャーに来ていただいて授業していただけることがとてもいいと思います。来年度もよろしくお願いたします。	
	・保健指導 安全教育	・学校安全計画に基づき、危険なことや事故から自分を守る力を育てる。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.3	保護者・地域アンケートで自分の身を守るように行動しているが、86% 児童アンケートで危険なことやあぶないことにならないように、考えて行動していますが、90%	○学校の帰り道での危険なことなど理解していて、常に子供自身が気をつけています。プライバシーの問題を家に帰って教えてくれて、学校で学んだことをしっかり理解していました。 ●先生は水泳や校外学習の際に子供たちに危険を伝えているが話を聞けず危ない子はどうも存在するので難しいと思います。 ☆安全指導日の時だけでなく、各授業や活動の折にも安全安心に心がけるよう指導をしていく。また、家庭でも危険を回避するための話を親子でする機会を持つよう声をかけをする。	
		・食育の推進	・給食指導等で、よい食習慣を身に付け、食の大切さを理解させる。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.3	保護者・地域アンケートで睡眠や食事をきちんととっているが、95% 児童アンケートで約束を守って給食を食べていますが、85%	☆H31年度も給食だよりや掲示物などを活用して指導を続ける。PTAと連携して給食試食会も継続して行う。
	地域・連携者	・保護者、地域の力を活かした教育活動の推進	・学習に保護者、地域や外部の人材を活用し、学習内容の充実を図る。(読み聞かせボランティア、学習ボランティアなどの活用)	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3.4	保護者・地域アンケートで学校は、家庭や地域との連携に取り組んでいるが、92%	○学校のことはよく分かっていないのですが、不明なことは連絡帳等で担任の先生にお伺いできるので助かっています。 ○先生方、保護者の方々が地域との連携をととても大切にしてくださっていると感じます。皆様のご協力はとてもありがたいと思っています。

学校自己評価(2) 学校評議員等

領域	短期経営目標	具体的方策	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた次年度の方策
確かな学力の定着と向上	・計画に基づいた指導	・「週ごとの指導計画」に指導のねらい、指導内容等を明記して、計画的に工夫した指導を行う。		子供の実態をしっかりと把握し、児童が「わかる」「できる」を実感でき、意欲を持ってとりくめる授業を工夫していくよう、研修・研究をしていく。
	・基礎的、基本的な学習内容の定着	・1単位時間(45分)の授業時間をしっかりと確保し、授業時数の確保を行う。(毎週「週ごとの指導計画」に時数を記入する。)		学習する時間も休み時間も学校生活で必要なりズムです。時間を守れるように、まず教師自身心がけ、児童にも指導していく。
	・探究的な学習活動の実施	・算数科で、習熟別学習(3~6年)・TT指導(1・2年)を行い、算数科の授業の充実を図る。		児童の習熟に合ったグループ編成に努め、習熟の程度に応じた学習の展開を工夫していく。児童が自ら考え学び進めるところ、教師が考え方や解き方を指導するところを明確にしておく。
		・朝学習『春日タイム』などを活用して、個に応じた指導の充実を図る。		競争心は時には有効であるが、平均点を出して競争心をあおるようなことは、小学校では適切とは思わない。学習の目標等を明確にし個々にめあてもしっかりとらえさせるとともに、個に応じた指導等の充実を図る。
	・学習習慣の確立	・学習の基礎となる「規律ある学習習慣」を確立する。	「私語や授業の進捗を妨げる」など、春日小学校は大丈夫なのでしょうか。	授業中の移動については、他の児童の迷惑や学習への集中が途切れないように考えていく。落ちついて学習できる環境を整える。
		・自己申告時の授業を公開する。		
健やかな心と体の育成	・心の教育の推進	・基本的な生活習慣を確立させる。		遅刻の指導は、個人や家庭環境に配慮して行っている。時間を守る、あいさつをするといった基本的な社会のきまりに則していることは家庭と協力して児童の良い行動へとつなげていきたい。
		・あいさつができるようにする。	あいさつについて、学校に来ている保護者からの意見だが、「あいさつがされないことがない。」とのこと。	あいさつのできない子には、まず大人から声かけをして、根気よく指導を続けていく。学年ごとの「あいさつ運動」も継続する。
		・年間指導計画に基づき、週1時間の道徳の授業を充実させる。		
		・児童アンケートを実施して、児童の実態把握に努め、「いじめ」「不登校」「体罰」がないようにする。	不登校児童について、どうしてそのような状況になるのか。	本人も原因がわからないこともある。親が「そっとしておいてほしい。」ということもある。どの児童にも、「引きこもってしまうかもしれない」、「学校に行きたくない」と思っているかもしれないということを常に考え、教師自身が冷静さを忘れず、厳しさの中にも温かさを感じられる指導を心がける。
	・特別支援教育の充実	・配慮を要する児童の実態を把握し、一人一人の教育ニーズに応じた指導を行う。	まだ授業の時間だったが、南校庭で一人で遊んでいる1年生児童がいた。僕の子供も感情の起伏や集中できなかったので、親御さんが気付いて先生につないでもらうことが必要だと思う。	学習のルールを徹底し、学校全体で落ち着いた学習活動が行われるようにする。特別に対応が必要な児童や学級については、支援員などを導入して対応している。今後も、可能な限りの対応策を継続していく。
	・体力の向上	・新体力テストの結果を活用して、体育授業を改善、充実させる。		新指導要領について体育部中心に研修(指導計画の改善、指導方法等に関する実技研修等)し、授業に活かしていく。H31年度も新体力テストの結果分析を授業等に活かしていく。
	・オリンピック・パラリンピック教育推進のための取組を各教科で実施する。			
	・保健指導 安全教育	・学校安全計画に基づき、危険なことや事故から自分を守る力を育てる。	「横断歩道」や「ブロック塀」について。練馬中を下ったところの角はいつも危ないと感じる。自転車のヘルメットをかぶっていない児童を見かけた。危険に対して判断できるような子供になってほしい。「だめ」と言うだけではなく、「だめ」の理由を考えさせていきたい。親の判断だけでは危ないこともあることも…。学校側でソフトマニュアルを作ってはどうか。強制力は少ないが、参考になるものがあると良い。	安全指導日の時だけではなく、各授業や活動の折にも安全安心に心がけるよう指導をしていく。長期休業の前には生活指導で呼びかけをする。また、家庭でも危険を回避するための話を親子でする機会を持てるように声かけをする。
	・食育の推進	・給食指導等で、よい食習慣を身に付け、食の大切さを理解させる。		H31年度も給食日より掲示物などを活用して指導を続ける。PTAと連携して給食試食会も継続して行う。
	地域と域の連携推進者	・保護者、地域の力を活かした教育活動の推進	・学習に保護者、地域や外部の人材を活用し、学習内容の充実を図る。(読み聞かせボランティア、学習ボランティアなどの活用)	ホームページの行事予定が更新されていない。評議員の予定も載っていると助かります。アンケートに出てきた意見に対する対応は親に返さないのですか。